

シャネツロック弱溶剤型は、太陽光中の近赤外線領域を効率的に反射する「高日射反射率塗料」で、塗装することにより屋内の温度上昇を抑制し、居住環境の向上に役立ち、冷房費の節減により省エネにも貢献します！

赤外線サーモグラフィーによる表面温度比較



戸建て住宅を想定した実験棟の屋根部に、一般塗料と高日射反射率塗料(シャネツロック弱溶剤型)を塗り分けました。

表面温度を赤外線サーモグラフィーで示すと、その温度差異は大きく、太陽光の赤外線反射効果が認められました。

<引用文献> テツアドー出版「月刊リフォーム2008年10月号」

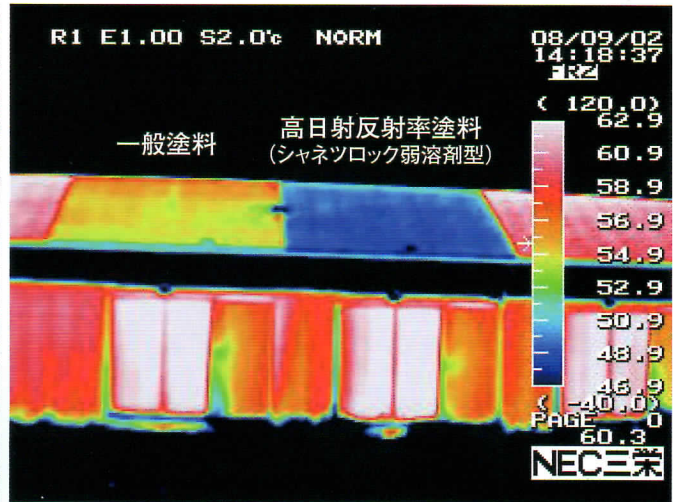
撮影条件

撮影日 2008年9月2日
場所 茨城県つくば市内実験施設
気温 29℃
天候 晴時々曇
塗色 ねずみいろ

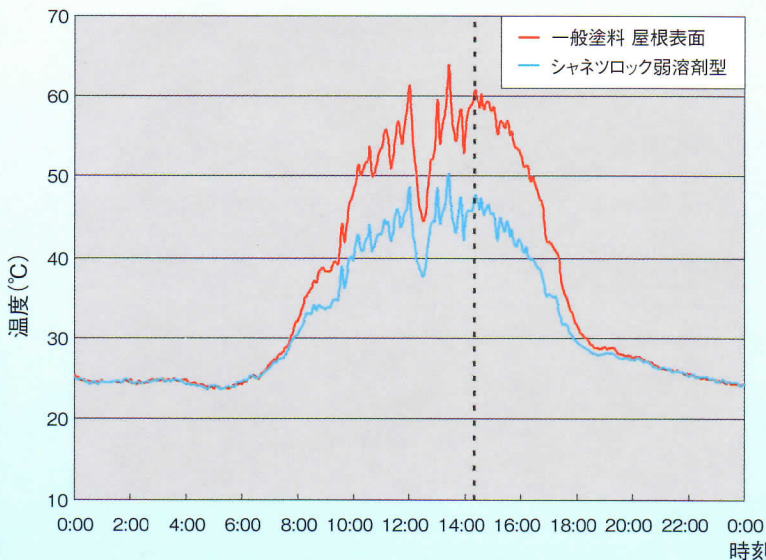
〈実験棟写真〉



〈左写真の赤外線サーモグラフィー画像〉

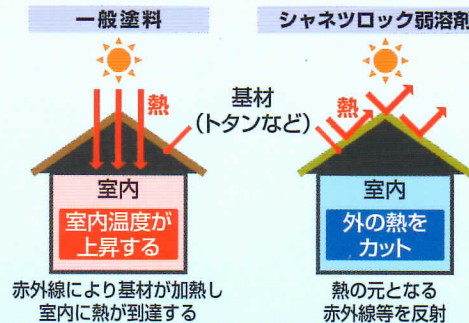


〈実験棟屋根の表面温度測定結果〉



屋根表面温度*が約7~19℃低減!

上記実験の実測値より



- * 実験棟西面屋根表面温度
- 実際の建物の構造などにより、遮熱性能は異なります。

(注) 建物等における熱遮蔽性については、窓などの開口部による影響が大きく、屋根や壁面などの断熱材だけでは十分な効果が得られない場合があります。より十分な効果を得るために、高断熱性窓ガラスの使用(ペアガラスや真空ガラスなど)や、屋根裏の断熱、床下・屋根などの隙間をできるだけなくすなどの方法を併せてとることをお勧めします。